

目次

- I. 平成27年度利用者の声：担当の先生から →41～43 ページ
- II. 平成27年度利用者の声：関係者から →44～47 ページ
- III. 各研究グループのメール交信回数速報 →48 ページ

I. 平成27年度利用者の声：担当の先生から

引続き、平成27年度の利用者のご意見をお届けします。最後は学校の先生と関係者からの声です。頂いた回答から運営のアイデアを得ることも多々あります。関係者の皆様、ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

回答8件

[サイエンスメンター制度を利用して良かった点]

1. 現場では対応しきれない専門的な指導を受けることができた。
 - ・アドバイスをいただいたこと。
 - ・研究の域を見つけるのに役立った。
 - ・学校の教師の指導と知識では指導しきれない研究に対して高いレベルの指導や研究の方向性を示していただいた。
2. 個々の興味・関心に合わせて、また個々のペース・段階に細やかに合わせていただける。
3. 教員の知識・理解を越えた分野・領域に対する生徒の興味・関心を伸ばし、生徒の成長が見られた。
 - ・生徒は研究のあり方、研究に対する姿勢等、多くの刺激を受けた。
4. メンター、メンティ、高校教諭の関係がより良いものとなるようこの制度がしっかり機能している。
 - ・生徒—教師、生徒—大学だけだと研究が曖昧なまま進まないこともあるかもしれない。
5. 装置を貸していただき研究が進んだ。
6. 大変良かった。

[サイエンスメンター制度で困った、あるいは不便を感じた点]

1. 学校行事・テストと研究が重なり忙しいことがあった。
 - ・制度そのものにはあまり感じることはないが、最近の学校現場や生徒の慌ただしさが最も問題と感じる。もう少し余裕があれば、担当教諭も仲介がしやすくなると思う。

2. 募集期間を5月～6月にすれば高1年生、2年生あるいは3年生と利用できる高校生の幅が広がるのではないかと。
3. いくつかの実験やサイトのまとめ作業などはメンター・メンティ間で行われるため、担当側が100%理解できない点があったこと。生徒側の問題として小さな疑問から大きな疑問や応用まで目が向かなかったこと。

[反省点]

1. もう少し直接会って指導ができればよかった。
2. メールできちんとやり取りさせること。

[研究費の10万円は妥当だと思うか否か]

8件：思う

[その理由は]

1. 特段、妥当と言う根拠はないが、やはり研究内容によって必要な機器が変わるので、交通費も異なるため少し柔軟にできれば理想的である。(基準は難しい)
2. もう少し計画的に使用すればよかったと反省もありますが、研究発表に出かけるための交通費として使用できるので、本人、保護者の負担を軽減する事ができた。
3. 必要な物品で困ったことがなく、大型の機械を購入する必要がないため。
4. 適正な金額がどの位なのか分からないが、高校生としては十分だと思う。
5. 妥当だと思うが一律ではなく必要に応じて増減させても良いと思う。
6. 1年間に使う試薬の単価(5,000～10,000円)と量(10本～20本)から考えると器具類と価格帯から考えて妥当。

[制度運営についての感想]

1. 「サイエンスメンターニュース」はお読みにになりましたか、また、参考になりましたか?
5件：参考になった
2件：あまり読まなかった



2. メンターや事務局との通信手段としてメールはいかがでしたか？

8件：よかった

3. 発表会以外にメンティや教諭同士が交流する機会を増やした方がいいと思いますか？

4件：交流機会を増やしてほしい

2件：交流機会を増やさなくてもよい

2件：どちらでもよい

【その他、ご意見・ご希望】

1. 中学生の課題研究を指導しています。高校ではこのような会がたくさんあり、うらやましく思います。中学校の研究を進めるにあたり、例えば、専門家を学校へお招きし授業をするための支援や情報があれば助かります。

2. 大会などで成果を出すことに目が向きがちでしたが、今回の発表を聞いて知識を身につけて生徒自身の成長を促すことの重要性を実感した。

3. 本日、代理で来たのであまり書けなくてすみません。とてもいい制度だと思う。とても勉強になりました。ありがとうございました。

4. 本当にお世話になりました。応募してよかった。



Ⅱ. 平成27年度利用者からの声：関係者から

回答19件

[発表会についての感想]

1. 多くの発表者が分かりやすい発表を行っておりレベルの高さを実感。
 - ・とてもレベルの高い発表がいくつも見られ、この制度の特徴がよく活かされていることが伺えた。
 - ・昨年よりも内容、発表のレベルが上がっていると感じました。先生方からの厳しい質問に答えている姿はすばらしい！！
 - ・質疑応答の際に、ただ研究内容に対してのものだけでなく、研究の本質を深く問うものからアドバイス、これまでメンターとして見て感じたことなども挙げられていて一年間を通して有意義なことをしていたのがみてとれるものすごかった。
 - ・分野の違う研究と生徒が十分理解するのは難しいが、研究にたいする意欲や姿勢などは大いに学べ、刺激を受けたと思う素晴らしい発表会でした。
 - ・これからこの制度を使うにあたり、先輩方がどのようにメンターの方と研究をすすめてきたのかがわかり、とてもよかった。特にクラゲ予防の研究発表では音が入っていて、発表方法としても学ぶことが多くありました。
 - ・私の担当教科は数学であり、今回はクラスの生徒がこの制度に参加していたということで初めて発表を見させていただきました。高校1、2年生の生徒が大学の先生方と対等に話し合っている姿に感銘を受けた。それぞれの生徒たちのさらなる飛躍に期待しています。
2. いろいろな分野の研究に触れ、刺激を得ることができた。
 - ・メンティの生徒の科学に対する興味や情熱を感じ刺激になりました。
 - ・色々な生徒の発表と大学等の先生方の熱いアドバイスが聞けて刺激になった。
3. 今回の研究発表会で自分たちの研究についてアドバイスを頂くだけでなく、他の研究についても知ることができとても勉強になりました。このような発表の機会が与えられることは生徒にとって良い刺激になると思います。これからも続けてほしいです。

4. 他の生徒さんの研究を知ることができたので良かった。メンターの先生と200回近くメールのやり取りをされた生徒さんもいたようで、とても参考になりました。
5. いろいろな発表を聞いておもしろかった。プレゼンテーションもとても上手な方がいて、とても参考になりました。ただ時間が長く最後まで集中するのは大変だと思ったので、2日間に分けたらいいかと思いました。
6. 発表件数が増えると会が長くなるので工夫も必要かもしれない。2年連続等の生徒はポスターも選べるなど、少し時間を短くして議論や交流の時間が増えると良いと思う。全体としては面白く良い発表会だったと思う。
7. 普通の発表会とは違い、アドバイスなどが多くみられて、研究者さんが高校生を応援してあげようという思いが伝わってくるようだった。ただ、研究テーマが偏っている気がした。サイエンスメンター制度を知らない人がいたので、その人の質問に時間を割くのではなく、他の事に時間を割いた方がいいと思った。
8. 発表技術の差が大きいので、期間中の中間期（夏休み頃）に発表研修などを行う事も一考かと思う。
9. 研究者同士のディスカッションになる場面がみられたので高校生も交えてディスカッションできるとよかった。高校生からの質問をもっと受け付けるようにした方がよい。発表会の前に高校生同士の交流会をするなど、質問を促すための工夫が必要。
10. 発表が大スクリーンでは無かったため発表者が指示棒で差し示すものが分かりにくかった
 - ・スクリーンが見えにくいので、より高い位置に置くか、プロジェクターなどで大きく投影してほしい。

[制度について]

1. 研究活動を行う上で最も大きな壁となってしまう指導員の限界を取り除く非常に良い制度。
 - ・ 高校生が専門の方にアドバイス・指導していただけるのはとてもよい制度。
 - ・ 本当に素晴らしい制度。メンターの先生からは研究の方法やデータの取り方、まとめ方を教えていただき本当に貴重な経験となりました。ありがとうございました。
2. メールでやり取りしやすい研究とそうでないものがあるので、直接お会いする機会を増やしてほしい。
 - ・ 生徒間での交流会など、生徒やメンティが意見交換できるような場が欲しい。
 - ・ 制度そのものはとてもよい制度。ただ、メールの活用では限界があると思う。スカイプの活用や面会指導など Face to Face の接触がもっと必要だと感じた。高校教員とメンターがもっとよく情報交換して連携して生徒の自主性を促すような指導ができるシステムがあると良い。生徒がメンターと高校教員の板挟みになるとかわいそうだと思う。
3. 若者の将来につながる素晴らしい取り組み。続けていただきたいと思う。
 - ・ 高校生の可能性を広げる機会としてこれからもさらに発表してもらえればと思う。
 - ・ とても良い制度だと思う。単に研究費を助成するのではなく、大学と高校との間に個の制度が懸け橋として機能する事で結果が出せるようになっている。今後さらなる発展を期待しています。
 - ・ 今後とも続けてお力添えをお願いしたい。
 - ・ 幅広い分野に対応できるメンターの先生方を揃えており、高校生に夢を与えるプログラムだと思う。今後は学校の偏りや地域、分野を整理すると共により多くの高校生がエントリーできると良いと思う。部活などの研究機会に恵まれない高校生にも門戸が開かれることを期待。
 - ・ この研究発表会はレベルも高く、とてもおもしろかった。本校のほかの先生にも後日、紹介したいと思う。ありがとうございました。

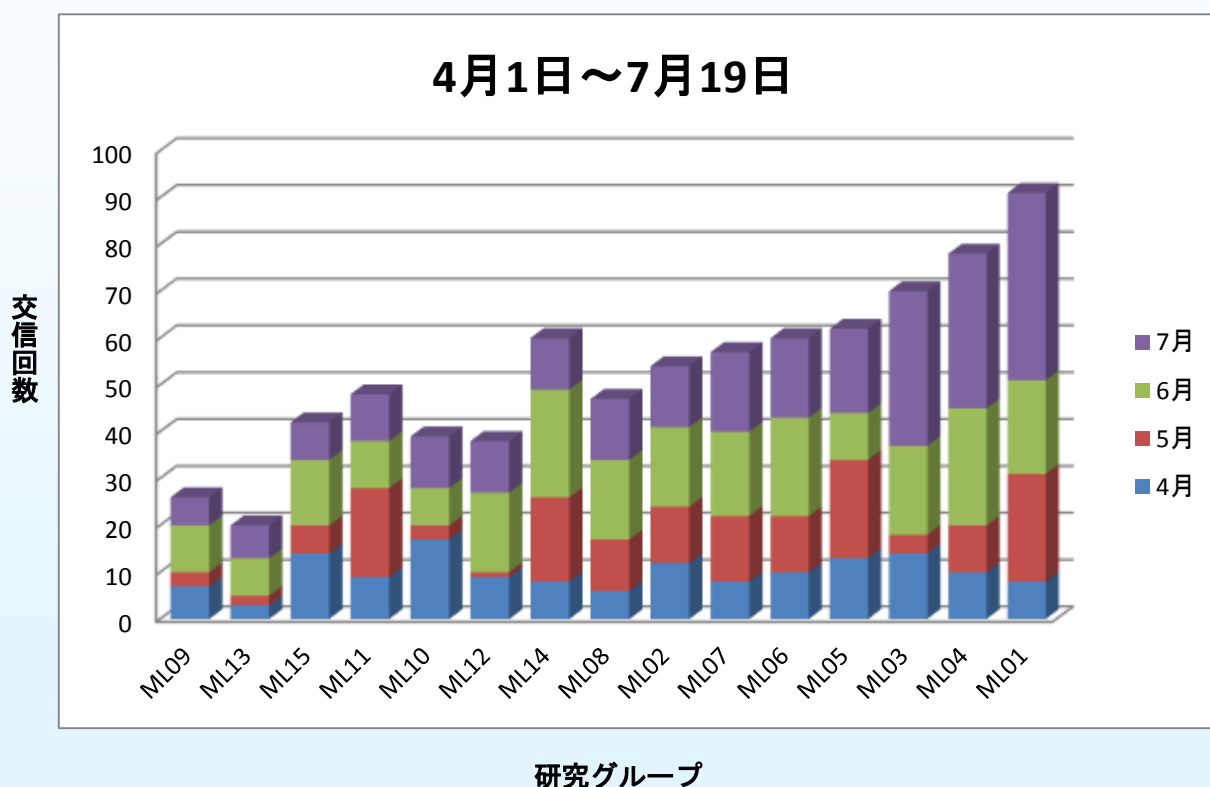
4. 1校当たりの採用数に上限を設けより幅広い学校・生徒に機会を提供できるとなお良い。1年間で最低1回はどんな場でもよいから学校外での研究発表会（誌上発表含む）に参加する事を推奨しても良いのではないか。中間報告以外にもう少し目標とする場があれば、より計画的に研究をすすめていけると思う。
5. SSHなどに指定されている高校のような国から大きな予算をもらっている場合は、少し件数を減らすなど審査を厳しくする方がよいと感じる。純粋な科学に対する好奇心や意欲を否定するつもりはないが、予算などもなく、そういう指導を受けられない学校や生徒を優先する方が機会の均等性や平等性からしても適切なのではないか。
6. お金も使い方が複雑でなくて良いと思う。
7. 発表会での件数が多いので飽きてしまうのではないか。
 - ・ 2日間に分けてほしい
8. 数学の研究があれば聞きたかった。なかなか難しいとは思いますが、今後出てくることを期待。
9. レベル設定が難しく感じた。
10. 何を求めているのかわかりにくい。
11. 変な学生にはありがたい制度。
12. 来年度からは自分もサイエンスメンター制度に参加予定。こんなにしっかり研究ができるか少し不安。恵まれた環境にはあると思うので、全力で頑張ろうと思います！よろしくお願ひします！

Ⅲ. 各研究グループのメール発信回数速報

7月19日までの発信回数をお届けいたします。

グラフは月ごとの総数で、今月のメール発信回数の少ない方から順に示しています。回数の中には事務局からの事務連絡等で配信したメールも数に含まれています。発信回数はメールの件名冒頭にカウントされる設定ですぐにわかる様になっています。

グループアドレスの@前の数がご自分のグループの番号になります。MLはメーリングリストの略です。



～事務局 加瀬より～

メンティの方からサイエンスメンターのロゴを使いたいと要望がありましたので下記のダウンロードページから自由に使用できる様にいたしました。是非！ご活用ください。 <http://www.jss.or.jp/ikusei/mentor/download.html>

メンティ・先生・メンターのどなたでも、ニュースやニュースターに関して、ご希望があれば遠慮なく事務局にご連絡下さい。また、こんな情報を載せたい・知りたいというご要望をお寄せいただいても結構です。

発行元： 公益財団法人 日本科学協会 企画室

サイエンスメンターニュース 第2巻 第8号 (通巻21号)

発行日：2016年7月25日

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F TEL:03-6229-5360 FAX:03-6229-5369

URL: <http://www.jss.or.jp/ikusei/mentor/>

E-mail: kikaku@jss.or.jp